



# 三気の門

## PORTAL SANKI

NO. 5

2024.5.9

文責：佐藤正一

# 人は誰でも誰かの先輩

～新入生歓迎会での校長講話～

4月25日(木)に生徒会が中心となって、  
新入生歓迎会が開かれました。

生徒会長による歓迎の言葉。全校で行うじゃんけん列車ゲーム。今年の体育祭で競う、「団」の抽選発表。団長の決意のことばと、内容は盛りだくさん。さすが保見中生。ゲームは全力で楽しみました。



私も話をする機会があったので、こんな話をしました。【じゃんけん列車ゲームで遊ぶ】  
「1年生のみなさん、今日の歓迎会はどうでしたか。3年生や2年生が君たちを歓迎しようと準備をしてくれました。先輩の姿はどうでしたか。怖い先輩だと思っていたけど、保見中の先輩は優しいですね。さて、校長先生には孫がいます。その中に2歳4か月の男の子がいます。まだおむつはいていて、言葉も「ママ、パパ、ジイジ」くらいしか言えないけれど、彼も自分が先輩だと自覚しているのです。なぜかと言うと、まだ生まれて6か月の従弟がやってきた時に、自分が使っていた歩行器の使い方を教えているのです。これを見て校長先生は「教えるという行動は本能だな」と思いました。動物の世界でも先輩が教える行動はあります。それはなぜか。その種族が生きていくのに必要だから。後継者が育たなければ、その集団は滅びる。保見中も同じ。先輩から後輩へ伝えていかないと伝統やルールが滅びてしまいます。

1年生は先輩に学びましょう。2、3年生は先輩として、良い姿を見せましょう。悪いお手本はいらないです。校長先生が中学生だった時、バレー部に入っていました。部活動で学校の外を走っているときに、とある先輩が近道をしようと校長先生を誘いました。嫌だなと校長先生は思いましたが、先輩の誘いを断れなかったです。ところが、このズルがあとで問題になりました。でも、その時、先輩が「誘った俺が悪い」と名乗り出て、かばってくれました。ずるいことをした先輩はともかく、ちゃんと後輩のために罪を告白した先輩はさすがだと思いました。さて、1年先に生まれれば、みんな誰かの先輩です。あなたたちはどんな先輩になりますか？